

中学校 国語 A 8 四 正答率 60.8%

指導のねらい

辞書を活用して、語句の意味を適切に書くことができるようにする。

課題の見られた問題の概要と結果

A 8 四 辞書を活用して複数の語の意味を的確に合わせて理解する。（「英気」と「養う」を説明している言葉を使って、「英気を養う」の意味を書きなさい。）正答率 60.8%（全国 59.9%）

学習指導要領における領域・内容

〔中学校第2学年 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項（1）イ（イ）
抽象的な概念を表す語句、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、語感を磨き語彙を豊かにすること。〕

授業アイデア例

例1 複数の語の意味を的確に合わせて理解する必要があるものを取り上げて指導する。

1 文脈の中で意味の分からない語句と語句が組み合わさったものについて考える。

2 辞書を活用し、それぞれの語の意味を調べさせ、文脈からどの意味とどの意味を組み合わせるとよいかを考える。

3 文中の意味として適切かどうかを検討する。

「十分に休養を取ったので」と書かれていることから考えると、「活動する」を少しずつつり上げる」という意味になると思います。



「十分な休養を取ったので」と書かれていることから考えると、「活動する」を少しずつつり上げる。②体力・知力などを少しずつつり上げる。

えいき【英気】（名）
①すぐれた才気。
②活動する気力。

十分に休養を取ったので、明日の英気を養うことができた。

【読んでいた本の一部】



一つ一つの語句の意味調べで終わるのではなく、文脈に沿って語句の意味を選ぶことができるように指導することが大切です。

例2 文学的な文章を扱った单元の中で、意味を調べ、実際に活用する学習を仕組む。

第一次

○「小学生向けに『走れメロス』他の登場人物を主役にした外伝を書く」という学習計画を立てる。

第二次

○太宰の文体、語句の使い方、表現方法に着目して読み、特徴をまとめるとともに、伝わりにくい表現の意味を調べる。

第三次

○調べた表現を用いて外伝を書き、交流する。

活用して外伝を書く。

セリモンテイウスは、喜びを顔中に表して、メロスを抱きしめた。「おお、メロス。君は……」

「喜びをたたえ」という表現は小学生には難しいな。どういう使い方がいいかな。



喜色をたたえる
喜びを顔じゅうに表す。

国語辞典を活用して調べまとめる。

：メロスも、満面に喜色をたたえ、しばらくは、王とのあの約束をさえ忘れていた。しばらくは…… 太宰治『走れメロス』による



文章の内容を理解させるために意味を調べさせるだけでなく、実際に調べた語句を文脈の中で活用する学習を仕組むことで、より確実に語句の意味をとらえることができるようになります。

中学校 国語B 2三 正答率 27.3%

指導のねらい

資料から適切な情報を得て、伝えたい事実や事柄が明確に伝わるように書くことができるようにする。

課題の見られた問題の概要と結果

B2三 資料から適切な情報を得て、伝えたい事実や事柄が明確に伝わるように書く。正答率 27.3% (全国 28.4%)

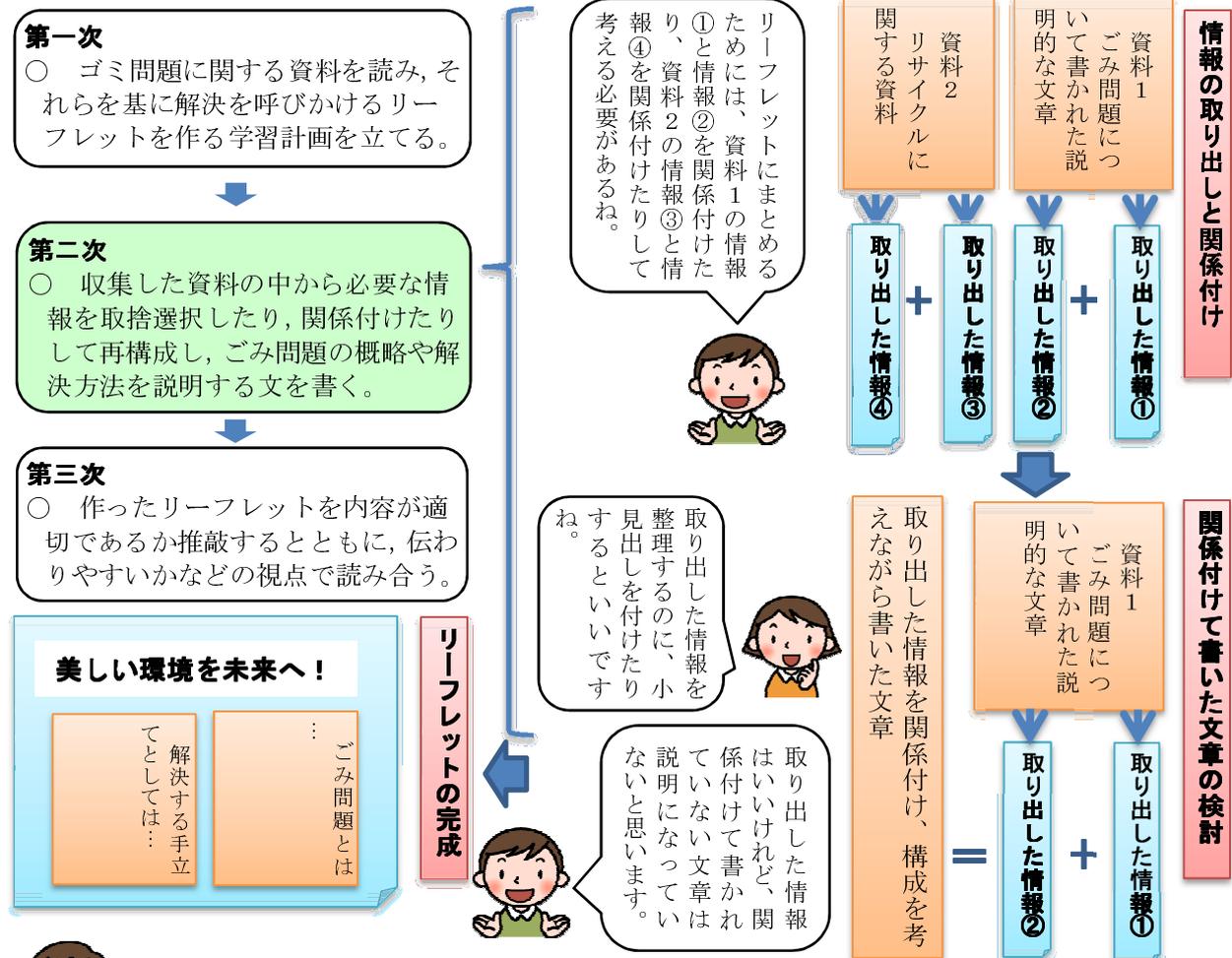
- ① 切手を水の中にしばらく浸しておくときれいにはがすことができる理由を適切に書いている。
 - ② 「切手」、「液体」、「アンカー効果」という言葉を全て使って書いている。
 - ③ 二十字以上、五十字以内で書いている。
- 特に多かった誤答類型は、条件②、③を満たし、条件①を満たさないで解答しているもので、52.2%であった。
例)「切手を水に浸すとアンカー効果が、固体から液体になるから」

学習指導要領における領域・内容

- [中学校第1学年] 書くこと ウ
伝えたい事実や事柄について、自分の考えや気持ちを根拠を明確にして書くこと。
- [中学校第2学年] 読むこと オ
多様な方法で選んだ本や文章などから適切な情報を得て、自分の考えをまとめること。

授業アイデア例

例 複数の情報の内容を正確に捉え、相手や目的に応じて取捨選択したり関係付けたりして再構成し、書き換えて説明することが求められる単元を設定する。



説明する際には、複数の情報の内容を正確にとらえ、相手や目的に応じて取捨選択したり関係付けたりして記述することが求められます。国語科の学習の中で、このような点に留意した機会を設けることが大切です。